

イエスはまなり

日本クリスチャン・アシュラム連盟 —60周年記念号—



# 日本アシュラム

アシュラムとはスタンレー・ジョーンズ師がインドの退修方式を取り入れて創設されたキリスト教の新しい祈祷運動である。

開心・静聴・充滿・献身・奉仕 180号

## 「スタンレー・アシュラムの再燃を祈ろう」

—60周年記念にあたり—

(イザヤ書 62 章 6 節、I ペトロ 5:7)

横山 義孝



日本クリスチャンアシュラム連盟 60 周年の記念を迎えました。70 年前第二次世界大戦敗戦後の荒廢の極にあった日本を愛して、インド宣教の聖者 E・スタンレー・ジョーンズ博士が同胞の救いのためにと日本縦断伝道を敢行の初期、「日本のクリスチャンに祈りを」の提唱のもと、アシュラムの運動が紹介され、1955 年 2 月伊豆天城山荘にて第一回の日本アシュラムがスタンレー師の指導のもと開催されました。筆者は '59 年東山荘における第 3 回の日本アシュラムに参加、期待に遥かに勝る聖霊の充滿の恵みに与ったのです。それ以来、このアシュラムこそ日本のクリスチャンの活性化、教会の靈的拡充の鍵を握る動力と確信して、この運動に挺身するものとされた次第です。

第一回のスタートから、「イエスは主である」(I コリント 12:3) の総主題とアシュラム五大原則が掲げられていました。60 年を経た今日、日本の全国各地に、様々な形でこの運動が展開され、教会とクリスチャンに靈の恵みが注がれております事は素晴らしいことです。本連盟はこの恵みの足跡を、総合的に確認し、続く 21 世紀への宣教の前進のために、福音を強化宣証する期とさせて頂きたく、世話役をさせて頂いております。

その事業とは①アシュラム 60 周年記念誌編纂と②9/21 (月) - 23 (水) にアン・マシューズ女史 (スタンレーの孫娘米国アシュラム (ワシントン) 委員会理事) を迎えての全国アシュラムの開催がそれです。今回は特に (近江) アシュラムセンター主幹牧師・榎本恵師とも提携したイベントになっていますことを感謝いたします。

この期にあたり強く願わしめられることは、アシュラムの靈的源泉に立ち返って、その聖霊の火に新たに燃やされたいということです。スタンレーアシュラムを生み出した原点は「キリストへの明け渡しと服従」の信仰にあります。彼がインド伝道に行き詰まって苦悩の極にあった時 (当時 31 才) 祈りの内に主から「あなたの重荷を私にゆだねなさい。そうすれば、わたしがそれを成し遂げよう」との御声を聴き「主よ、今直ちにお委ねいたします。」と明け渡した瞬間、聖霊が上からどっと注がれて、予期しなかった自由と喜び、内なる命に満たされ、それ以来復活の大生命に満たされて、その生涯をインドに献げ尽くす結果とされたのです。アシュラム五大原則の凡てはこの彼の聖霊経験からきています。

この 60 年記念にあたり、この明け渡しの信仰をわれらが再燃させる期にさせて頂きたくぞんじます。祈り求めつつ共に励み進みましょう。

栄光主にあれ。ハレルヤ。

(日本キリスト教団東京新生教会 協力牧師)

## 霊 想



### 「信仰による義」の力」

日本ホーリネス教団  
池の上キリスト教会牧師  
千代崎 備道

【ローマ一章16～17節、ハバクク二章4節】

福音は、救いを得させる神の力であり、それは「神の義」です。

(1) ハバククにおける「信仰による義」

パウロがロマ書一章17節で引用しているのはハバクク書です。悪に満ちた社会を見た預言者ハバククは「何故こんな状態が許されているのか」と問い、神様は「異国バビロンを用いて全イスラエルを罰する」と答えます。それは、腐敗した一部の人が裁かれるべきで、自分は彼らと違って正しい、という彼の理解とは違っていました。神様の目は、ハバクク自身を含めたイスラエル全体が等しく罪深く、裁かれるべき存在です。しかし、主はその罪深い民に「正しい人は信仰によって救える」、すなわち「信仰によって救

わされる」と語られたのです。

(2) パウロにおける「信仰による義」

パウロは、ダマスコ途上で復活の主に出会って回心をした後、アラビヤに行き(ガラテヤ一・17)、ハバクク書を含め旧約聖書を福音に照らして黙想しました。パウロは、自分は律法を守っている義人であり、キリスト教徒は悪だと思っていたのですが、自分こそが一番御心から遠い罪人でした。しかし、その罪人をも愛し救う「神の義」を知ったのです。パウロは、律法の行いではなく、信仰により十字架によって救われるという、「信仰による義」こそが私たちに「救いを得させる神の力」であることを心に刻み、律法とは無縁な異邦人にも福音を宣教していきました。

(3) アシラムにおける「信仰による義」

アシラムでは各人がニードを持って祈り、その祈りが答えられる体験をしますが、「公益信仰」のように「自分の願望」が中心に居座り、神様を「願望実現の道具」としてしまっただけではありません。祈りに対する神様の答えは三通り、一つは「願いが叶えられ」、御力が示されること。二つ目は「待つこと」が求められ、神の時が来れば答えが与えられるという約束の言葉を信頼する中で信仰が強められます。三つ目は「願

願いが御心に一致しておらず、自分の心に問題があることに気が付かされ、神様は物事や他者や環境ではなく、私自身の罪を取り扱われます。この体験が一番必要です。

最大の恵みは、罪からの救いです。自分の内にある罪が示され、その罪人の私を赦す神の愛を知り、信仰が強められ、聖霊の力によって内側から作り変えられていく。この恵みを受けるとは、願いが答えられないという体験が大切です。自分の願いを中心とした視点に拘っていると、神様の目から見るとどのような問題が自分にあるのかが見えません。神様はそれに気付かせるために、私たちの行こうとする道を敢えて塞がれるのです。神様の恵みを受け取るのは信仰です。御心がどこにあるのかを求め、深く御言葉に聴き、神への信頼に導かれることを祈り求めましょう。

### 日本アシラム60周年

#### 意義と期待

私たち「宗教法人アシラムセン

ター」の与えられた使命と役割

アシラムセンター牧師

榎本 恵

日本クリスチャンアシラム連盟の60周年おめでとございます。



私たち、宗教法人アシラムセンターも2015年に、40回目の年頭アシラムで

す。ともに、記念の年を迎えることができずすることを、主に感謝するとともに、この長きに渡り、アシラム運動を推進し、守り育てて来てくださった先達方の信仰に敬意を表するものであります。

ご存知のように、私たち「アシラムセンター」は1955年夏、滋賀県近江八幡市に、設立されました。それまで、日本基督教団今治教会の牧師を務めながら、独自にアシラム運動を続けてまいりました榎本保郎牧師が、主の「向こう岸へ渡ろう」という声を聞き、アシラム運動に専心するため、今治教会を辞し、多くの方々の祈りと支えによりアシラムセンターを設立いたしました。

ところが、その榎本保郎牧師は、わずか2年の間に、天に駆け上るようになられた。残された者たちは、途方にくれながらも、このアシラム運動を引き継いで行く決心をし、二代目主幹牧師として田中恒夫牧師を迎えました。以来、幾多の危機的状況を神の不思議な御手の助けにより乗り越え、アシラム運動を推進し、広げて行くことを唯一の目的とした

宗教法人として歩んでまいりました。現在は、2代目田中牧師急逝の後、8年前より、3代目主幹牧師榎本恵を迎え、今に至っております。

初代主幹牧師榎本保郎は、その39年前の設立趣意書の中で、このように述べております。

「昭和30年キリスト教におけるアシユラム運動の指導者スタンレー・ジョーンズ博士が来日され、博士に接触し、アシユラム運動こそキリスト教信仰の神髄であると痛感し、昭和34年の冬、有馬においてのアシユラム集会に参加し、その折、スタンレー・ジョーンズ博士より指名いただき、皆のために祈る祈り者として奉仕した。」

もちろん私たち「アシユラムセンター」も日本クリスチャンアシユラム連盟とともに、Eスタンレー・ジョーンズ博士によって始められたアシユラム運動をその基に据えるものであり、「イエスは主なり」という告白に、何一つ足すことも、引くこともしないものであります。しかし残念なことにこの40年の間、お互いの間の交流がほとんど持たれることなく、それぞれの歩みを続けてまいりました。私たちアシユラムセンターでは、主幹アシユラムである年頭アシユラムを中心に、各地アシユラムとして、それぞれの地域のアシユラムの友が主催者となり、大小合

わせ、年間30箇所以上のアシユラムが持たれております。また海外、特に台湾、ブラジルにおいても、アシユラム集会が持たれ、現地のアシユラムの友を中心にしながら、活発にその活動がなされております。しかしながら私たちのアシユラムセンターの歩みも、決して順風満帆の何ら問題のないものではありません。参加者の高齢化、人数の減少、財政の逼迫、建物の老朽化など、数え上げればきりがありません。

しかし、それらは、単に私たちだけではなく、日本の教会全てに共通する問題でありましょう。おそらくその問題を一朝一夕に解決す



る魔法の処方箋はないでしょう。ただ一つ一つの課題に対し、逃げることなく、真摯に向き合い、なにもでなく、あるものを教え、祈りつつ主に聞き、正しい解決を求めていこうと決意しているものです。幸い、今年から、ロスアンゼルスの日系人教会の方々が、アシユラムに興味を持つてくださり、現地の宣教団体の協力を得て、本格的アシユラム運動を北米の地でも展開できることになりました。初代主幹牧師榎本保郎が、その命をかけてまで伝えようとしたアシユラムが、40年の時を

超え、北米で開かれようとするに、主の約束は決して変わることはないこと確信しています。

同時に、昨年2014年の年頭アシユラムにはじめて、日本クリスチャンアシユラム連盟理事長横山義孝牧師にお越しいただき、先生の尊いお話を聞く機会を得ましたことは、なによりも大きな喜びでありました。多くの心ある牧師、また信徒の皆様方が、同じ日本に、アシユラムの名を戴いた2つのグループがある事を、心配しておられる事を耳にします。

もちろん、私どもはけっして、敵対したり、争ったりしているわけではありませ

せん。しかし、もしこのことが「わたしはパウロにつく」「わたしはアポロに」「わたしはケファに」「わたしはキリストに」などと言いつつ合っている(1コリント11:12)事と同じと見なされるなら、これこそアシユラム運動にとって不幸な事はないのではないのでしょうか。そこに、横山先生が、まず私たちアシユラムセンターをお訪ねくださいました。ほんとうに感激の極みでありました。またこのことのために、両者の間に入り、取り持つてくださりました。東京聖書学校長島隆三牧

師のお働きにも、心から感謝申し上げる次第であります。和解の使者の姿ほど、美しいものはありません。40年のときを越え、働かれる主の御手は決して短くはない。今回の横山先生のご決断を、私たちは、このように受け止めさせていただいております。

共にそれぞれの歩みを続けて来た、アシユラム連盟とアシユラムセンターが、お互いに交流を深めていく事は、大事な事でありませ。しかしそれは無理矢理、二つのものを一つにするという事ではないでしょう。それよりはむしろ、お互いがお互いを認め合い、お互いに尊敬し合い、それぞれの働きをそれぞれに応じ行いながら、協力すべきところは協力する。そのような姿こそが、理想であります。

実際、私たちアシユラムセンターは、2009年に、台湾のアシユラム運動「台湾基督教愛修会」との間で、協約を結び、お互い主にあるよい交わりを行っております。ここに、参考までに、その協約を紹介致します。

主にある聖家族(ファミリー)をめざして | 日本アシユラムセンターと台湾基督教愛修会との協約 | 1前文

われら、日本アシユラムセンターと台湾基督教愛修会は、その設立の時以来長年の間、ともに祈り、支

え合う関係を続けて来た。また「国際平和アシラム」の開催を通し、関係が深まりつつある中で、この度正式な協約を締結し、人種、国籍、性別を越え、私たちのあらゆる垣根を取り去り給う主に聴き従い、真の正義と平和がこの地上に来らん事を待ち望む。マラナタ。(主よ、来たりませ)

2 協約

- (1) 日本アシラムセンターと台湾基督教愛修会は、ともに「イエスは主である」という信仰告白に立ち、新旧約聖書を基本にして、集会を行う。
- (2) われわれは、それぞれに実行委員会を持ち、運営、プログラムなどについては、それぞれの自主性において決定し行う。また互いの課題をともに担い合うために連絡を密にし、その関係性を深めていく。
- (3) 私たちは、上記の目的を達するために、毎年公式の訪問団を送り、一年間のそれぞれの信仰の歩みを報告するとともに、お互いの祈りの課題を挙げ、主のみ言葉に聴き、祈り励まし合う事を約束する。
- (4) われわれはまた、共通の祈りとして、この地上に神の国と神の義の実現を祈り求め、世界の国々、また地域における主の平和と主の正義のために協働し、その証として「国際平和アシラム」を共同で開催する。
- (5) 最後にこの協約は、日本アシラム

ラムセンターと台湾基督教愛修会との間に交わされたものであり、全世界に広がるキリスト者同士が、真の聖家族(ファミリー)となることを、祈り、はげましていくことを願う。

最後になりましたが、60年にわたる、日本クリスチャンアシラム連盟の働きに対し、心からの尊敬と感謝を現すと共に、次の60年を見据え、共に主の道を歩むものとなることを、またそのためにこれからお互いの関係をさらに密にしていく事が出来たら、幸いであると願っております。どうか、日本において、また世界において、主のみ言葉に聴き従うという、このアシラム運動の大きな働きが、ますます広がっていくように、お互いに力を合わせて参りましょう。

「感謝と前進・祝60周年」

連盟九州支部

前委員長 鍋倉 勲



この度は日本クリスチャン・アシラム連盟の創設60周年を迎え

られ、まことにおめでとうございませす。実は九州アシラムでも今年は創設50周年を迎える事になりアシラム運動に連なる全国の俦友の皆様

と喜びを共有出来る恵みを神に心から感謝いたします。この記念すべき時に過去50〜60年の歩みを振り返る時、今日では日本全国にアシラム運動が展開されていますが特にスター・ジョーンズ博士の日本と同邦に対して示していただいた熱愛と信仰による祈りに感謝いたします。

「アシラムと私」について証し風に触れさせて頂きます。私がアシラム運動に深い関心を寄せるようになったのは日本バプテス連盟の推薦による5年間の学びを終えて2009年秋に帰国して鳥飼バプテスト教会牧師として着任してからでした。

博士の日本伝道の最終回の来日の折、博士の通訳の奉仕をとの依頼がありました。日本でのスタンレー伝道大会の通訳者は安村三郎博士との好評がありました。事実お二人が並んで講壇に立つてお話が始まるとどちらが主講演者で通訳者か分からないほどの名コンビなお姿を早くから拝察しておりましたので私がお引きすることは大変な決断を要しました。私は5年間のアメリカ留学を終えて帰国したばかりでしたので多く先輩、同業者のご援助を頂きながら与えられた約2週間の日程を無事全うできた時の感動は生涯忘れえない経験であり、長い伝道生活において受けた宝となっています。ジョーンズ

ズ博士と同伴して身近に言葉で交わす会話を介して学んだ事例は数えきれないほどありましたが何と云っても生活そのままが体験学習でした。今後の期待と課題について触れてペンを置きます。

1. 全国レベル・連盟事務局の存在とスタッフのボランティア活動に感謝致します。

2. 地方におけるアシラム集會に東京周辺から助言者派遣は？経済的に地方でも努力する姿勢も含んで検討したい。

3. 地方の努力目標として毎年のアシラム集會への参加者をより積極的に呼びかけたい。

最後に、ピリピ2章13節にあるように「あなたがたのうちに働きかけて、その願いを起こさせ、かつ実現に至らせるのは神であって、それは神のよしとされるところである。」と受け留めて確認し、信仰の父、アブラハムの信仰に立つて祈祷の精神、アシラム運動の本質未知であった日本全国のキリスト教会と信徒に霊的な覚醒の刺激となつていふことを特にこの60周年という節目に立つて主に感謝するとともに、これを出発点として日本アシラム100年に向かって祈りの課題を探り、これに取り組み、前進する者でありたいと願っています。

「イエスは主である」

関西支部委員長 小島 十二



70年前日本は歴史未曽有の敗戦、八紘一宇皇国史観の崩壊を経験しました。飢饉混乱の中日本人に肉体的・精神的に援助が必要でした。国家の安全、社会の秩序、国民の健康に、占領連合国統治者アメリカから食料支援に加えマッカーサーは精神年齢12歳の日本に、宣教師100名を送るよう指示したと聞きました。戦中から鬼畜米英を殲滅せよと戦意を集中した敵国から、戦後は援助の手がのべられました。「その他アジア他国からも」日本に伝道し、日本の教会を強くし助けるために正義と和解の神は御手をのべて、義人の祈りと宣教師を遣わされました。その中にインドに宣教中の米人スタンレー・ジョーンズ兄弟は神の愛と霊的重荷をもって、とくに日本の教会を励まし、強くする「クリスチャン・アシユラム」を実証とともに紹介したのです。

私は、前戦争中 神社参拝の先勝祈願に参加し、父が牧する教会も戦闘機献金をささげて協力する有様でした。天皇を神として礼拝はしませんが、唯一の創造主、御子キリスト

の証しを明白に出来ない弱い信者、教会でした。洗礼を受けて、名前は教会員になりましたが、新生の恵み、神の国入籍の喜び、聖霊のパプテマスも知らないまま、不実の矛盾と偽善の心に悩みました。パウロのいう「善と知って行いえず、悪と知って止められない。悩める惨めな人間でした。」「肉の欲、目の欲、持ち物の誇り」に支配され世の悩みに敗北、無知不信の鎖に繋がれて、世の力に下に埋没した信者でした。「地の塩、世の光」の実力は皆無です。しかし、「聖霊を受けて力を得、地のはてまで私の証人となる」との生ける復活の主の御顕現に認められて、「あなたがたが、世にある欲のために滅びることを免れ、神の性質にあずかる者となるためである。それだから、あなたがたは、力の限り尽くして、あなた方の信仰に徳を加え、特に知識を、知識に節制を、節制に忍耐を、忍耐に信心を、信心に兄弟愛を、兄弟愛に愛を加えなさい、これらのものがいよいよ豊かなになるならば、主イエス・キリストを知る知識について、あなたがたは、怠る者、実を結ばない者となることはないであろう」(2ペテロ1の4から8)。60年記念アシユラムは神の力によって強い信徒、弟子となる教会への絶好の機会となりますように。参加者に、助け主、聖霊の充満、

「イエスは主である」の賛美が溢れ流れ出ることを祈ります。

「静聴の恵み」

池の上キリスト教会責任役員



飯島 延浩

日本クリスチャン・アシユラム創立六十周年、おめでとうございます。

アシユラムに参加して、数え切れない恵みをいただけてまいりましたので、アシユラムの中で体験し、見出したことについて書かせていただきます。

アシユラムでは二泊三日の関東アシユラムや、城北アシユラムのようない日アシユラムがあります。アシユラムでは、アシユラムに参加する前から、そのアシユラムで神に祈りを求め、お答えをいただいで、その実践、実行、実証をするために、神に祈り求めるニードが何であるかを求めます。

ニードが明らかな場合もありますが、なかなかはっきりしたニードが与えられない場合もあります。今、自分自身が神に求め、お答えをいただいで、その実践、実行、実証に励むニードが明確になつてくれれば、あとはアシユラムに参加して、

そのニードに対する答えである、神の導きの言葉を聖書の教えの中に捜します。

静聴とは、心を低くし、心を静めて、聖書の教えの中に導きの言葉を捜し求めることです。自分自身に与えられた導きの言葉だけでなく、アシユラムに参加された人々に与えられた導きの言葉にも耳を傾けます。信仰の深さによって、導きの言葉とその内容が異なるからです。

私にとってよく理解できる導きの言葉とその内容もありますが、私には全く考えることもできない導きの言葉をいただき、それを実践、実行、実証しようと与えられる方もおられます。神の力と助けによる信仰の成長をはかる時が、静聴の時と祈りの細胞です。神の言葉には常に神の霊がともにあり、新しい価値の創造を可能とします。

私自身の信仰の成長に役立つ、新しいみ言葉を見出した時、私自身を変えてくださるだけでなく、新しい事柄に挑戦する勇氣と力をいただきます。静聴の中で、新しい導きの言葉をいただくことができれば、日々の生活の中で、その実践、実行、実証に励みます。

「求めなさい、捜しなさい、たたきなさい」と、マタイの福音書七章七節で、主イエスキリストは教えられますが、求めるとは、ニード

を求めることで、私のニードではなく、神のみどころにかなう私のニードを求めることです。探すとは、聖書の言葉に静聴して、聖書の教えの言葉の中に、ニードに答えるみ言葉の導きを捜し求めるのです。ニードに答えるみ言葉の導きを聖書の教えの中に見出し出したら、その導きの言葉を、日々の生活の中で実践、実行、実証して、ニードに対する良い結果を得るまで努力することが、ただ私の求めることです。

日本クリスチャン・アシユラムの働きが、今後、日本の中に定着し、ますます盛んになっていくことを心より祈り願います。

## 日本クリスチャン・アシユラム 連盟「60周年記念事業」の現状 と期待

事務局 池の上キリスト教会  
総務主事 石井 寛・荒井 光夫

2013年から始まりました「60周年記念事業」に、多くの皆様方のお祈りとご支援によりまして進められております。現状は次のとおりです。

### 〔記念誌〕

このアシユラム180号が発行されているころ（6月下旬）には記念誌が完成の予定です。皆様のお祈りとご協力があつてのことです。この記念

誌には連盟ばかりでなく、アシユラム・センター（榎本恵師）およびその関係者からも多数寄稿していただきました。「アシユラムとは何か」

から始まり、各地のアシユラムの様子、関連書籍の紹介、写真などが載ります。また、60年にわたる年表も巻末には掲載されており、日本のアシユラムの全容を知ることができま

す。編集においては関東アシユラム委員の川村秀夫兄が精力的にまとめくださり、専門のクリスチャン校正者が詳細にわたり校正してくださいました。そしてデザインから印刷までを、これまたクリスチャンの会社が仕上げてくださいました。

### 〔全国アシユラム〕

今回の開始場所は御殿場YMC A 東山荘を予定しています。大会の詳細についてはご案内はこのアシユラム誌に同封させていただきます。アメリカからのマシューズ女史、そしてアシユラム・センターの榎本師がメッセンジャーとして予定しています。9月21日〜23日の全国アシユラム（第53回関東アシユラム合同）へ

のご参加をお待ちしています。

「アン・マシューズ女史をお招きして」アシユラム運動創設者・E・スタンレー・ジョーンズ師の孫娘、米国アシユラム連盟理事、アン・マシューズ女史をお招きし、全国アシユラムにおいてお証しをしていただきます。すでに共同招聘者の榎本牧師とも打ち合わせを進め、全体のスケジュールもできました。

9月20日（日）、池の上キリスト教会での礼拝のご用、翌日から2泊3日の全国アシユラム、終了後には榎本師とともに関西、28日〜30日にかけて「国際平和アシユラム・盛岡繋温泉」、「東日本大地震追悼集会・久慈バプテスト教会」の予定です。全日程がまもられ、祝されますようお祈りください。

### 〔募金の現状〕

記念誌発刊に関して150万円、全国アシユラム関連費用50万円、マシューズ女史関連50万円、合計250万円の募金をお願いしてきました。5月末現在、その必要は満たされませんでした。心より感謝申し上げます。なお、今年度いっぱい募金を続けさせていただきます。たくさん願っています。

現在、事務局として池の上キリスト教会奉仕者がその任に当たっています。これから新たなアシユラム運動を進めるためにも、教職賛同者および協力教会が与えられ、かつて

1950年代の各地での活発なみことばと祈りのアシユラムが再度広まりますよう、お祈りご協力ください。

## アシユラム並・理事会予告

### ●60周年アシユラム記念大会

とき 15年9月21(月)〜23(水)  
会場 YMC A 東山荘(御殿場)  
助言者 アン・マシューズ女史  
(米国アシユラム委員会  
理事)

榎本 恵師(近江) ア  
シユラムセンター主幹牧  
師)

費用・登録費 三〇〇〇円  
参加費 一六五〇円

申し込締切9月5日

全国のアシユラムの友のご参加をお待ちします。

### ●日本クリスチャンアシユラム連盟

第21回全国理事会  
とき 15年9月21(月)11時〜14時  
30分

15年9月23(水)13時〜15時  
会場 YMC A 東山荘(御殿場)  
右アシユラムのプログラムの前後に  
開催予定。理事各位のご参加を願  
い上げます。

〒一八一〇〇一一 三鷹市井口3-15-6  
池の上キリスト教会内

日本クリスチャン・アシユラム連盟  
振替口座 東京〇〇一〇〇一四五五八